

執り成してくださる方

ローマの信徒への手紙 8 : 26 - 34



司祭 ヨハネ 井田 泉

2023年7月30日

聖霊降臨後第9主日

京都聖三一教会にて

今読んだ福音書でイエスさまはこう言われました。

「天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている……。」 マタイ 13:44

今日、聖書という畑に宝を発見することができるでしょうか。今日は「執^とり成^なし」ということをお話しします。

旧約聖書の中にヨブ記という本があります。幸福な日々を送っていたヨブは一瞬にして家族、財産、健康などあらゆるものを失い、これ以上ない苦しみと孤独の中で地に横たわります。ヨブは自分が神から攻撃されていると感じます。そのような中で、ヨブはなお神を求めてこう言います。

「このような時にも、見よ、天にはわたしのために証人があり、高い天には、わたしを弁護してくださる方がある。
わたしのために執り成す方、わたしの友、神を仰いでわたしの目は涙を流す。」 ヨブ記 16:19-20

彼は天に求めています。わたしの味方となってくださる方、「わたしのために執り成す方」を。神を求め、神に求めているのです。

ヨブ記の結末は、最後に神ご自身が登場して、彼を正しいとされる。ヨブは神を仰ぎ見てひれ伏します。ヨブ記については

今はこれ以上触れませんが、ただヨブが苦しみの極みから、天を仰いで自分に味方してくださる方、「わたしのために執り成す方」を切に求めたということ覚えていきましょう。そのような方は、わたしたちにも必要なのです。

ところで今日の使徒書に「執り成し」という言葉が出て来てきました。それも3回です。ローマの信徒への手紙第8章です。順番に確かめてみましょう。

「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。」

8:26

「“霊”は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。」8:27

「だれがわたしたちを罪に定めることができます。キリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださるのです。」8:34

このように3回「執り成してくださる」と言われています。

わたしたちに味方し、わたしたちのために執り成すのは誰かというと、聖霊とキリスト・イエスです。二重の執り成しがあります。

順を逆にして、まず**キリストの執り成し**です。イエス・キリストは地上の生涯において、弟子たちのために、また多くの人々のために執り成して祈っておられました。キリストは十字架の上で、罪人のために祈られました。そして復活し天に昇って今は、「**神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださる**」。

「神の右に座って」というのは、安楽椅子に身を任せて、ということではありません。わたしたちを支えようとして、わたしたちを守ろうとして、キリスト・イエスは言わば神さまに膝詰め談判して訴え祈ってくださる、ということです。

ヨブが切望したとおり、天に、わたしたちに味方して執り成してくださる方、キリストがおられます。

そしてもうひとつ。**聖霊の執り成し**です。聖霊がわたしたちのために執り成して祈ってくださいます。こう言われていました。

「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“**霊**” 自らが、**言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。**」

8:26

聖霊はわたしたちの内側に働かれます。聖霊が、わたしたちの中で、わたしたちに代わって、うめきつつ、わたしたちのために執り成してくださる。わたしたちの苦しみを引き受けて、

わたしたちが祈れないところまで、うめいて祈ってくださるのです。

わたしたちが危ういとき、また良心が苦しむとき、わたしたちのために執り成す方がおられる。それを今日の聖書は伝えています。

わたしたちを放置せず、見放さず、支えてくださる方。わたしたちに味方し、受け入れ、愛し、赦し、祈り支えてくださる方。その方が、わたしたちには二重にいてくださる。イエス・キリストと聖霊と、二重に与えられているのです。

わたしたちはイエスさまに祈っていただいて支えられ、聖霊に執り成していただいて守られる。そうして滅びを免れて、わたしたちは神さまのもとに帰ります。赦しを受け、新しい命をいただいて再び歩み始めます。執り成す方がいてくださるからです。

今日の福音書で「畑に宝が隠されている」と聞きました。聖書という畑に、「わたしたちのために執り成してくださる方」という宝を、今日わたしたちは発見しました。

祈りましょう。

神さま、わたしたちのためにイエス・キリストが祈っていてくださること、聖霊がわたしたちのために執り成していてくださることを教えてください。わたしたちが困難を抱えるとき、その執り成しによって助けてください。誰かが危ういとき、その執り成しによって守ってください。主のみ名によってお願いいたします。アーメン